

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校 種	教 科	教科用図書目録に登録された教科書総数	本報告書の総 ページ数
小学校	書写	6	2

調査研究の観点及び各教科書の特徴

発行者	観 点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
2 東書		<p>○「気をつけることは何かな」のように、児童に投げかけ考えさせる表記で目標を示している。</p> <p>○全学年とも見開きに、姿勢・執筆法・用具の扱い等を写真やイラストに説明をつけて示している。</p> <p>○漢字の成り立ちやいろいろな時代の文字など、書写の歴史に関する内容や、古典の視写や漢字の伝来などの伝統文化に関する内容を、全学年で掲載している。</p>	<p>○書写で学習したことを生活の中で生かせるように、他教科のノート例を全学年で示している。(1学年算数, 2学年算数, 3学年理科, 4学年国語, 5学年家庭科, 6学年社会)</p> <p>○1. 2学年は評価シール, 3～6学年は○△の2段階の自己評価欄がある。</p> <p>○「はってん」として、行書についての内容を6学年に1ページ掲載している。</p>	<p>○総ページ 低学年(41) 中学年(49) 高学年(49)</p> <p>○毛筆教材3～6学年(7から9)</p> <p>○硬筆教材全学年(12～55)</p> <p>○硬筆記入欄 1学年(20) 2学年(19) 3学年(8) 4学年(9) 5学年(9) 6学年(9)</p> <p>○単元構成 1学年(4) 単元 2学年(4) 単元 3学年(8) 単元 4学年(8) 単元 5学年(7) 単元 6学年(7) 単元</p>	<p>○黒の墨の手本と同じページに穂先の動きが分かる朱と白の混ざった墨で書いた字を掲載している。</p>	<p>○「生活に広げよう」のページで、名前・作文・カード(1学年)、観察カード・お礼状(2学年)、原稿用紙・自己紹介カード・調べ学習や観察の記録(3学年)、手紙や葉書・新聞(4学年)、手紙・メモ・パンフレット・カード・寄せ書き(5学年)、しおり・模造紙・短冊・色紙(6学年)などの具体例を示している。</p>
11 学図		<p>○「～に気をつけて書こう」のように具体的な目標をあげている。</p> <p>○全学年に「学習に生かそう」ページを設け、「かんさつカードをかこう」(1学年)「プログラムの書き方」(4学年)など他教科への活用を図っている。</p> <p>○全学年とも見開きに、姿勢・執筆法・用具の扱い等を写真やイラストに説明をつけて示している。</p> <p>○「筆ができるまで」(3学年)「すみができるまで」(4学年)「和紙ができるまで」(5学年)「いろは歌・文語詩」(6学年)など、書写の歴史や伝統的な言語文化に関する内容を、3学年以上で扱っている。</p>	<p>○身に付けた書写力を活用する実用場面の例を数多く示している。「メッセージ」(5学年)、「お知らせ」(6学年)など</p> <p>○1. 2学年は評価シール, 3～6学年は1～2観 点の教科枠にスマイルマークを記入する自己評価欄がある。</p> <p>○「発展のページ」として、行書についての内容を6学年に2ページ掲載している。</p>	<p>○総ページ 1学年(41) 2学年(41) 3学年(49) 4学年(45) 5学年(45) 6学年(41)</p> <p>○毛筆教材3～6学年(7～9)</p> <p>○硬筆教材全学年(2～60)</p> <p>○硬筆記入欄 1学年(20) 2学年(12) 3学年(11) 4学年(7) 5学年(3) 6学年(4)</p> <p>○単元構成 1学年(9) 単元 2学年(9) 単元 3学年(10) 単元 4学年(9) 単元 5学年(7) 単元 6学年(7) 単元</p>	<p>○1学年のひらがな練習では、4つの部屋を意識させるよう、毎ページに4つの部屋をつけている。</p> <p>○穂先を三角定規にあて、始筆の方向を示している。</p> <p>○保護者の方へという保護者を意識したつくりになっている。</p>	<p>○「しりょう」のページで、たてがきとよこがき・かんさつカード(1学年)、たて書きとよこ書き・いろいろな筆記具、観察カード(2学年)、はがき・俳句・ローマ字(3学年)、短歌・プログラム・ノート・学級新聞(4学年)メモ・ポスター・メッセージ・資料のつくり方(5学年)文語詩・お知らせ・連詩・巻物(6学年)など、生活に生かす具体例を示している。</p>
15 三省堂		<p>○高学年では、まず硬筆で書き、毛筆で確かめるように、硬筆と毛筆を関連させた目標をあげている。</p> <p>○巻末資料として、「書写学習のヒント」という学習のまとめがある。</p> <p>○伝統と文化に関する内容は、主に4学年以上で扱っている。</p>	<p>○身に付けた書写力を生活に生かす具体例を全学年で示している。「絵手紙」(4学年)、「メッセージ」(6学年)など</p> <p>○全学年に○を記入する自己評価欄がある。</p> <p>○「発展」として、行書についての内容を6学年に1ページ掲載している。</p>	<p>○総ページ 1学年(41) 2学年(41) 3学年(45) 4学年(45) 5学年(45) 6学年(45)</p> <p>○毛筆教材3～6学年(5～12)</p> <p>○硬筆教材全学年(3～65)</p> <p>○硬筆記入欄 1学年(25) 2学年(25) 3学年(11) 4学年(14) 5学年(10) 6学年(13)</p> <p>○単元構成 1学年(9) 単元 2学年(9) 単元 3学年(10) 単元 4学年(9) 単元 5学年(7) 単元 6学年(7) 単元</p>	<p>○中学年では、単元のはじめに「ほ先はいつも上のはし」などキャッチフレーズのようなめあての書き方になっている。</p> <p>○穂先を青い時計の図の中に打ち始筆の方向を示している。</p>	<p>○「ひろげよう」のページで、思い出(1学年)、発見したこと・お礼・はがき(2学年)原稿用紙・お知らせのはがき・毛筆作品をかざる(3学年)、お礼の手紙・新聞・ノート・絵手紙(4学年)、教室の文字をよりよくしよう・レポート(5学年)、聞いて書く・ポスター・メッセージ(6学年)など、生活に生かす具体例を示している。</p>

17 教出	<p>○「～に気をつけて書こう」「字形を整えて書こう」など、活動を促す言葉を「めあて」と表記している。</p> <p>○文字や書写の歴史、伝統的な文化に関する内容を全学年に掲載している。</p> <p>○最初の見開きのページに学習のめあて、目次とともに文字や書写に興味を誘う内容がある。</p>	<p>○1. 2学年はできたら○をなぞり、3～6学年は◎○△を記入する自己評価欄がある。</p> <p>○「はってん」として、各学年とも次学年で役立つ情報を掲載している。</p>	<p>○総ページ 1学年(45) 2学年(41) 3学年(59) 4学年(57) 5・6学年(49)</p> <p>○毛筆教材3～6学年(7～8)</p> <p>○硬筆記入欄 1学年(7) 2学年(5) 3学年(11) 4学年(8) 5学年(5) 6学年(6)</p> <p>○単元構成 1学年(4) 2学年(3) 3学年(8) 4学年(7) 5学年(7) 6学年(6)</p>	<p>○1・2学年では、文字を書く姿勢、鉛筆の持ち方ともに同じ内容を掲載している。</p> <p>○3～6学年の「はじめの学習」では、姿勢と筆の持ち方について同じ内容を掲載している。3・4学年では墨液の扱い方や墨の持ち方とすり方について同じ内容を掲載している。</p> <p>特に、3学年では「学習の進め方」として、硬筆と毛筆とを結びつけている。</p> <p>○筆使いについてイラストを用いて筆順や穂先の動きを示している。</p>	<p>○「トライあんどチャレンジ」コーナーでは、他教材との関連を示している。</p> <p>○「書いて伝えよう」では、書写で学習したことを生活や授業の中で生かしていこうと紹介している。</p>
38 光村	<p>○各単元の冒頭で「筆使いを確かめよう」等、単元の目標を示し、続いて「～に気をつけて～しよう。」と、具体的な観点を示している。</p> <p>○書く姿勢・執筆法・用具の扱い方について、写真やイラストで詳しく説明している。</p> <p>○伝統と文化に関する記述は、3学年以上で扱っている。</p>	<p>○国語科の教科書と連動して一体的に扱える教材を、各学年に1つずつ設定している。(1学年：すきなことなあに、2学年：原稿用紙に書くとき、3学年：手紙の書き方、4学年：読みやすいリーフレット、5学年：インタビューの要点、6学年：情報を伝えるパンフレット)</p> <p>○5. 6学年の目次上部に、学習の見通しと該当学年のめあてを示している。</p> <p>○1. 2学年は「笑顔」、3～6学年は「3段階の表情」をなぞる自己評価欄がある。</p> <p>○書写への興味・関心を高めるため、用具や書体などに関わる事柄を、2学年以上に各1ページ「もっと知りたい」として掲載している。</p>	<p>○総ページ 1学年(39) 2学年(37) 3学年(55) 4学年(49) 5学年(47) 6学年(49)</p> <p>○毛筆教材3～6学年(7～15)</p> <p>○硬筆教材全学年(14～36)</p> <p>○硬筆記入欄 1学年(20) 2学年(18) 3学年(11) 4学年(10) 5学年(9) 6学年(7)</p> <p>○単元構成 1学年(6) 単元 2学年(3) 単元 3学年(6) 単元 4学年(5) 単元 5学年(3) 単元 6学年(4) 単元</p>	<p>○筆使いについて、多色刷りのイラストを用いて、穂先の動きや筆圧も含めて示している。</p>	<p>○全学年の巻末に「資料」を置き、日常生活に役立つ書式を掲載している。(1学年：横書き、2年：手紙、3～6学年：はがきの表書き・原稿用紙、4～6学年：便せん・封筒・新聞、5. 6学年：絵はがき、6学年：エアメール・ノート・電話メモ)</p>
116 日文	<p>○単元の目標を、マークをつけて「～を考えて書こう」などのように、冒頭に示している。</p> <p>○全学年とも、見開きに、姿勢・執筆法・用具の扱い等について写真やイラストで示し、説明をつけている。</p> <p>○書写の歴史に関する内容について、漢字の成り立ちや伝来、習字用具ができるまでを掲載している。伝統的な言語文化に関する内容について、3学年以上で扱い、ことわざ、俳句、和歌、古文、いろは歌、故事成語などを掲載している。</p>	<p>○全学年に、「広がる学び」「もっと書こう」のコーナーを設け、書写で学習したことを生活や他の学習に広げる例や書写で学習したことを役立てる例を示している。(絵日記、名刺、手紙、報告文、ポスター、卒業作品など)</p> <p>○全学年に○を記入する自己評価欄がある。第3～6学年のまとめ、第5・6学年の書き初めに自分のめあてと振り返りをかく枠を設けている。</p> <p>○第2・4・5・6学年では、巻末に、「チャレンジ」として、次学年につながる情報を提示している。(第2学年は、「毛筆の学習がはじまるよ」、第4学年は、「絵手紙を書こう」、第5学年は、「行書って何?」、第6学年は、「行書で書けるかな?」)</p>	<p>○総ページ 第1・2学年(41) 第3～6学年(53)</p> <p>○毛筆教材 第3～6学年(7～10)</p> <p>○硬筆教材全学年(11～46)</p> <p>○硬筆記入欄 1学年(15) 2学年(5) 3学年(2) 4学年(6) 5学年(2) 6学年(5)</p> <p>○単元構成 1学年(6) 単元 2学年(5) 単元 3学年(7) 単元 4学年(6) 単元 5学年(6) 単元 6学年(6) 単元</p>	<p>○第3学年「横画」の始筆、送筆、終筆の筆使いでは、横画を半ページ分の写真で示し、始筆・送筆・終筆の穂先の向きを写真で示している。穂先を意識付けるため、穂先を赤くして、筆跡を示している。「トン スー ピタ」という言葉で始筆・送筆・終筆を示し、パンダのキャラクターで「始筆から終筆まで、筆圧をかえずに書こう」と示している。</p>	<p>○「広がる学び」「もっと書こう」の教材数 第1学年(4)例「えにつきのかきかた」 第2学年(5)例「年がじょうの書き方」 第3学年(3)例「お礼の手紙の書き方」 第4学年(3)例「おすすめの本をしょうかいしよう」 第5学年(4)例「ポスターの書き方」 第6学年(3)例「作品の作り方ー卒業に向けてー」</p>